

単結晶ダイヤ工具標準品

短納期・低コスト

日新ダイヤ



【名古屋】日新ダイヤモンド（滋賀県高島市、神谷伸顕社長）は、短納期で低コストの単結晶ダイヤモンド工具の標準品「Nブランド」

を発売した。特注品が多く高価格のダイヤモンド工具を標準品化することで手軽に試してもらい、新規顧客獲得につなげる。医療や半導体向けなど樹脂加工を手がける業種に提案し今後1年間で1億円の売り上げを目指す。

インサート（刃先交換チップ）、正面フライスカッター、樹脂用R面取りエンドミル、一枚刃スクエア工

ンドミル、一枚刃ボーランドミル、ヘール加工用バイトの6種類をそろえた。今後も新製品を追加する予定。

単結晶ダイヤモンド工具は特注品がほとんどで、加工が難しいため納期も長く高価格。同社は従来の知見から需要を把握し、標準化に着手。レーザー加工機で加工を自動化することでコストを抑えたほか、在庫販売のため短納期を実現した。

神谷社長は「長寿命で高精度なダイヤモンド工具を知つてもらうために、幅広く提案したい」と意気込む。